



造船科・造船部

須崎工造船部 今年も快挙



連覇を喜ぶ造船部員たち

(須崎市の須崎工高)

ソーラーボート
福岡・柳川大会

周回V3 スラロームV4

【須崎】太陽光発電で走るソーラーボートの競技大会「柳川ソーラーボート大会」がこのほど、福岡県柳川市で開かれ、須崎市の須崎工業高校造船部の2艇が「周回」「スラローム」の学生の部でいずれも優勝、準優勝に輝いた。2種目のワンツーフイニッシュは3年連続で、スラロームは4連覇の快挙。生徒たちは「作戦通りのレースができた」と喜んでいる。

(山本 仁)

一般の部に18艇、学と、直線150mに浮かべ生の部に23艇が出場。たフイの間を縫って進む柳川城の堀(1周約3分)むスラロームで競つ・iピを3周する周回した。



「周回」レースに挑む須崎工高艇 (福岡県柳川市=同校提供)

須崎工高のメンバーは造船科の2、3年生計12人。2012年に完成した「Sukoro III」と、昨年完成した「Horriwaristar」の2艇に、ともに3年生の森守さん(18)と部長の岡本正さん(18)が乗り込んだ。スラロームでは、1位の「istar」が27秒58、2位の「III」が27秒78を記録。いずれも一般の部の優勝タイムを上回る好成績で、安定した強さを見せた。

須崎工高は11年に周回で初優勝。13年はスラロームで1、2位に輝き、14、15年は2種目で1、2位を独占している。

周回では「電力を温存し、終盤までスピードを維持する」作戦が功を奏した。心配していたマシントラブルもなく、1位の「III」は39分29秒でゴールし、自らが持つ学生記録をおよそ1分半も上回った。

バッテリーの管理を担った矢野智暉さん(17)「3年間はとにかくミスがないように何度も確認した。ドライバーが頑張ってくれたおかげです」と振り返る。3年生たちは「後輩には記録更新を目指してほしい」「卒業しても一般の部で出場したい」と思いをかみしめていた。

スラローム・周回 連続全国制覇!